



## 女性自衛官募集対象者と女性自衛官の交流会

自衛隊埼玉地方協力本部（本部長 高田一空佐）は、募集対象者に女性自衛官についての理解を深めてもらうために、令和4年8月3日（水）、さいたま市宇宙劇場（大宮市）において、今年度第2回目の女性自衛官との交流会を実施した。

前回は駅から徒歩15分の収容20名だったが、今回は、駅から徒歩5分の利便性のある会場を選定し、収容規模を拡大して行った。本交流会には、女性自衛官に興味を持った女性一般参加者（保護者含む）45名、陸海空自衛隊の各部隊からの支援により参加した女性リクルータ4名及び埼玉地本の隊員11名が参加した。

はじめに、自衛隊の概要を説明し、その中で女性自衛官の活躍を紹介した。また、男女共同参画も進んでおり、女性でも働きやすく長期的な勤務が可能であることを説明した。その後、一般参加者とリクルータとの懇談、VR体験、制服・戦闘服の試着、ライフプランシミュレーションを実施した。

懇談では、教育隊のアルバムを活用して、教育隊での厳しくも楽しい生活の状況を伝えた。VR体験では、戦車走行・いずも乗艦・ブルーインパルス飛行を体感してもらった。制服・戦闘服試着は大変好評で、多くの参加者が記念撮影をしていた。ライフプランシミュレーションでは、給与や退職金を試算し、将来についてより具体的にイメージアップしてもらうことができた。

終了後、参加者からは、「陸・海・空それぞれ大変なこともあるけれどそれ以上にやりがいや同期との繋がりで乗り越えられることを知ることができた」、「「より自衛官になりたいという気持ちが大きくなりました」、「「前向きに検討したいと思えます」、「「自衛隊」という組織をより身近に感じられたかなと思います」といった感想を聞くことができた。

埼玉地本は、本交流会の成果を活かし、秋以降に向けて入隊予定者を対象とした様々な交流会を企画し、引き続き自衛官の仕事について具体的な発信を継続するとともに、自衛隊に対するさらなる理解獲得に努めていく。



撮影時のみマスクを外しています